

幹部諸君

2020年4月10日

創業者 取締役会議長 菱村和彦



日本経済新聞「離れても信頼高める働き方に」感想文

新型コロナウイルスを受けて、社員の多くがお客様からの相談に何とか応えようと努めてくれていることと思う。

そして、丹羽副社長より4月8日付で在宅ワークがGr全体でスタートしたことが掲示板で発表された。

「しぶとく・しぶとく、考えて行動せよ！・・・この大きなチャレンジを我々のしぶとさと底力で乗り切る」

私は大きな感動でこれを読み、3年前の50周年を迎えた感激を思い出した。

添付した日経新聞4月2日の社説をしっかりと読んでもらいたい。示唆に富む沢山のことに教えられる。

テレワーク中心に、デジタルで気持ちを伝えたり、相手を動かしたりすることは、これまでとは違う能力を必要とする。これまでは勢いと信頼のなかで、「やっておいてくれ」で済んだことが、これからは、部下も本当にその仕事が必要なのかと考えるようになるだろう。

上司がきちんと、一つ一つの仕事の目標・プロセス・成果測定・評価を明確にしなければ信頼が得られないということだし、そのようにしてチームや仕事を再構築しても、それがお客様から必要とされなければ、そのようなチームは消滅する。

賢明なる貴君たちのリーダーシップに敬意を表するとともに、社説の内容は表題が示すとおり大変重要なことが提言されている。私たちはこれからの時代絶対に直面することになったであろう事態が少しはやく来たという捉え方で、災い転じて福となす発想の転換のチャンスとしてもらいたい。

今こそ幹部諸氏の叡智を結集し、一丸となってこの難局を乗り切る闘争心に大きく期待する。

以上

[日本経済新聞 2020年4月2日社説は「こちら」](#)